

学校と地域が連携・協働して「地域総がかり」で、
 未来の創り手である東新潟中学校の生徒たちを育てるために

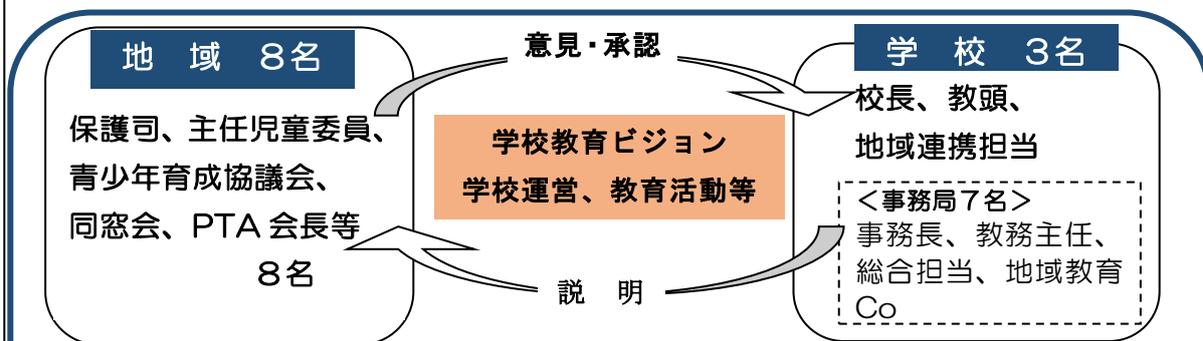
第1回学校運営協議会を開催しました

学校運営協議会は学校と地域が手を携えて「地域総がかり」で子どもの成長を支えることを目指しています。5月13日(月)に第1回学校運営協議会を開催しました。令和6年度の教育ビジョンについて意見が出され、承認いただきました。また、1学年の総合学習の授業で学んだ防災学習を地域防災に生かせないかについて、ファシリテーションを用いて、意見を出し合いました。今年度は年3回(5月、10月、2月)行う予定です。



東新潟中学校 令和6年度学校運営協議会の構成と概要

東新潟中学校学校運営協議会委員は11名で構成されています。

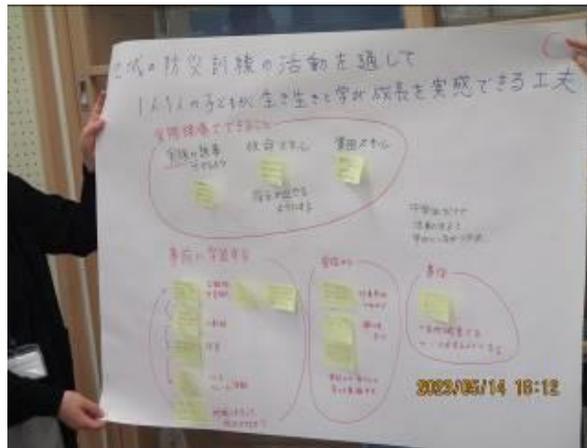


東新潟中学校の生徒たちがこれからの社会をたくましく生き抜く力を育成するために
 地域と学校が一体となって取り組んでいきます。

地域防災について考えました

今年の1月1日に発生した令和6年能登半島地震は、新潟市にも大きな被害をもたらし、改めて防災の大切さを実感させられました。そこで学校運営協議会において、地域防災について学校と地域が協働してできることについて、熟議しました。特に、昼間は勤労者等が

不在であるため、基礎体力が備わっている中学生の力が、災害時には欠かせないと言われています。また、活動の継続性という視点からも、若い世代が防災活動に参加することが重要で、学校で学んだことが地域で生かせるよう話し合いました。



新潟市が目指す授業づくり

主体的・協働的な学びを実現する授業



生徒指導の視点を意識した授業

「学習課題」と「まとめ」のある授業を継続することで、子どもに学び方が身に付きます。

「何を学んでいるのか」

・「問いを見付ける力」が高まり、子どもが自ら学習課題を設定できるようになる。

・対話によって協働が生まれ、思考が深まる。
・子どもが自ら学習課題を追究できるようになる。

「何が分かり、できるようになったのか」

・子どもが自ら分かったことをまとめられるようになる。

「どのように学んでいるのか」

・子どもが自ら学びを自覚できるようになる。

問題 提示

学習 課題

アクティブ・
ラーニング

ま と め

振り 返り

授業づくりにおいて、次の四つの視点を意識することで、子どもに自律性・社会性が育まれます。

目的意識

・課題が何であるかを明確に捉え、「課題を解決したい」という思いを強くもつ。

・分かったこと、できるようになったことを明らかにし、学びの過程を振り返る。

自己決定

・根拠に基づいて、自分なりの考えをもつ。
・友達の考えを基に、自分の考えを強化・修正する。

個性・能力

・自分に合った方法や役割を選択する。
・自他の考えを生かしながら、解決を目指す。

協同性

・課題解決のために役割を分担する。
・友達と積極的に意見を交流・検討する。

・かかわり合って解決したことのよさを自覚する。

今年度は、「生徒の学習意欲を高める学習課題の提示」と「生徒にとって意味のある関わり合い活動の工夫」の2点を大切に、職員一人一人がより良い授業を行うことができるように、研修を進めていきます。

昨年度末に職員が集まって「東新生につけたい力」を話し合いました。その際に、「人と関わる力」を高めたいという意見が多くの職員から挙げられました。コロナ禍の学校生活の中で、関わり合い活動が制限されざるを得なかったこともあり、「人と関わる力」をもっと生徒たちに身につけてほしいと考えています。

そこで今年度は、「関わり合い活動」を授業の中で多く設定していきたいと考えています。またその関わり合い活動が、生徒にとって「取り組みたい！」と思えるような意味のある活動になるように、より工夫した学習課題が必要であると考えています。そのため今年度は、「生徒の学習意欲を高める学習課題の提示」と「生徒にとって意味のある関わり合い活動の工夫」を研修テーマとして設定しました。

すでに4月の学級活動の時間には、関わり合い活動が行われ、2学年の授業参観においては、「ペーパータワー」という活動を行い、多くの保護者の皆様から参観していただきました。「意見を出し合い、協力する姿が見られて、子どもの様子を楽しくみることができました。」「話し合いで、お互いの意見を尊重し合っ

てやってみる、また話し合う、といったとても良いチャレンジの授業だったと思います。」といったご意見をいただきました。これから各教科の授業においても、さらに関わり合い活動が設定されていきます。ぜひお子様に授業の様子をお聞きいただけたらと思います。

また授業で学んだことが定着されるように、家庭学習の支援も継続して行っていきます。終学活後の5分間を「東新タイム」とし、帰宅後の家庭学習の内容と開始時刻を考え、「Toshin Life」に計画を記入したり、自習を行ったりする時間を設けています。また昨年度の保護者懇談会において、「小学校よりも宿題が少なくなった。」という声を受け、今年度は生徒の負担になりすぎない量を考えながら、各教科担任が宿題を積極的に出すようにしています。家庭学習習慣が確立するように、ぜひご家庭でもお声掛けいただけたらと思います。

